

経営比較分析表（令和6年度決算）

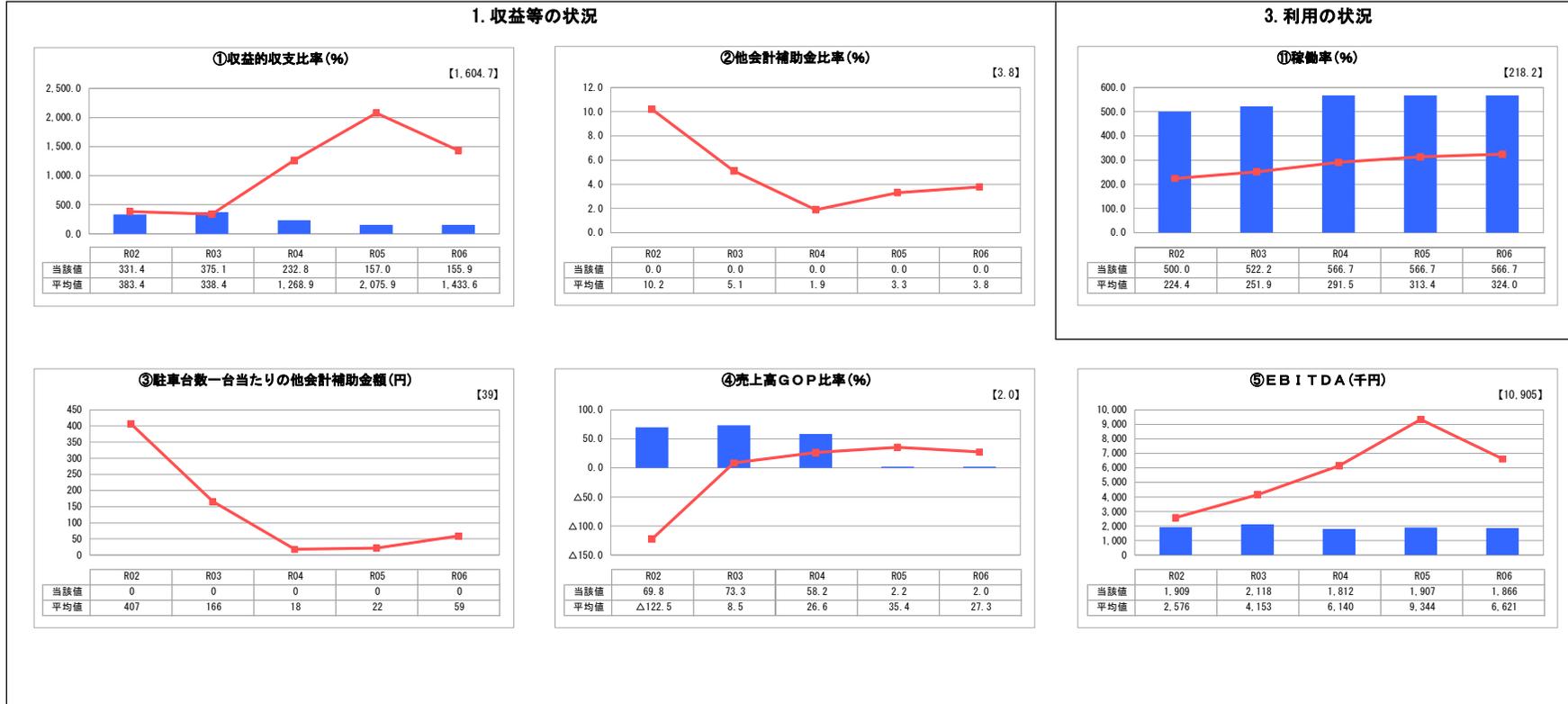
和歌山県田辺市 紀伊田辺駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	342
収容台数(台)	時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
9	200	利用料金制

グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

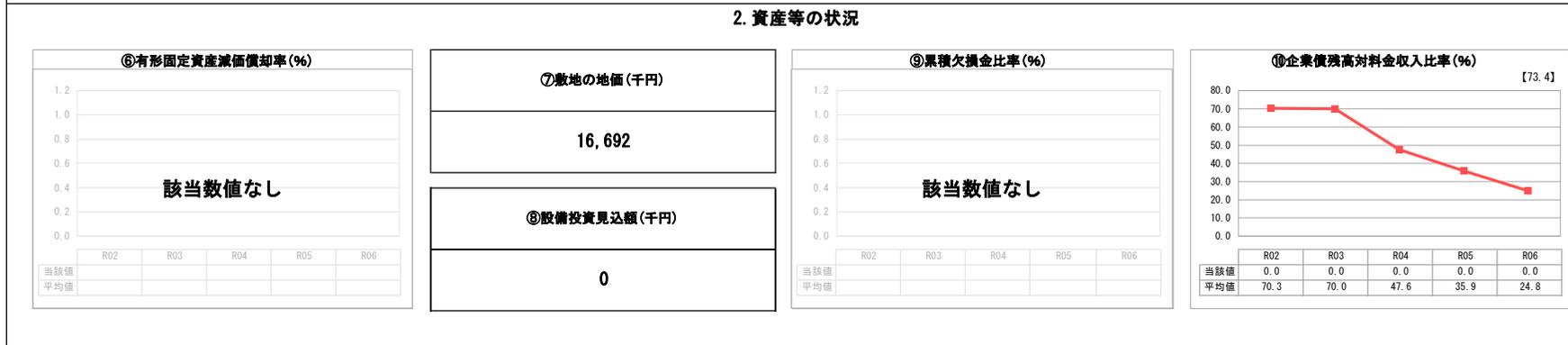


分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率については、昨年より減少しており、類似施設平均値より低い水準となっております。
 令和5年度より指定管理者制度へ移行し、指定管理者納付金が営業外収益に仕訳されるため、売上高GOPが類似施設平均値より低い水準となっております。
 今後も指定管理者と施設設備の維持管理の節減を図り、安定した経営に努めてまいります。

2. 資産等の状況について
 平成25年度の駅前広場整備事業に伴い改修を実施しております。
 今後も設備機器等の改修については、計画的に取り組んでまいります。

3. 利用の状況について
 稼働率については、昨年と同程度ではありますが、平成25年度の駅前広場整備事業に伴い、類似施設平均値と比べても高い稼働率を維持しております。
 今後も指定管理者と利用者の利便性の維持・向上に努めてまいります。



全体総括
 新型コロナウイルス感染症蔓延以前と比較すると収支が減少している状況であります。
 また、将来的には人口減少に伴う利用者の減少が考えられる中、物価高騰により、老朽化した設備等の更新経費の増大や各種維持管理経費の増加が見込まれる状況にあります。
 今後は、維持管理経費の適正化に努めるとともに、利用者の増加のため指定管理者と連携し、健全な駐車場運営に努めます。

経営比較分析表（令和6年度決算）

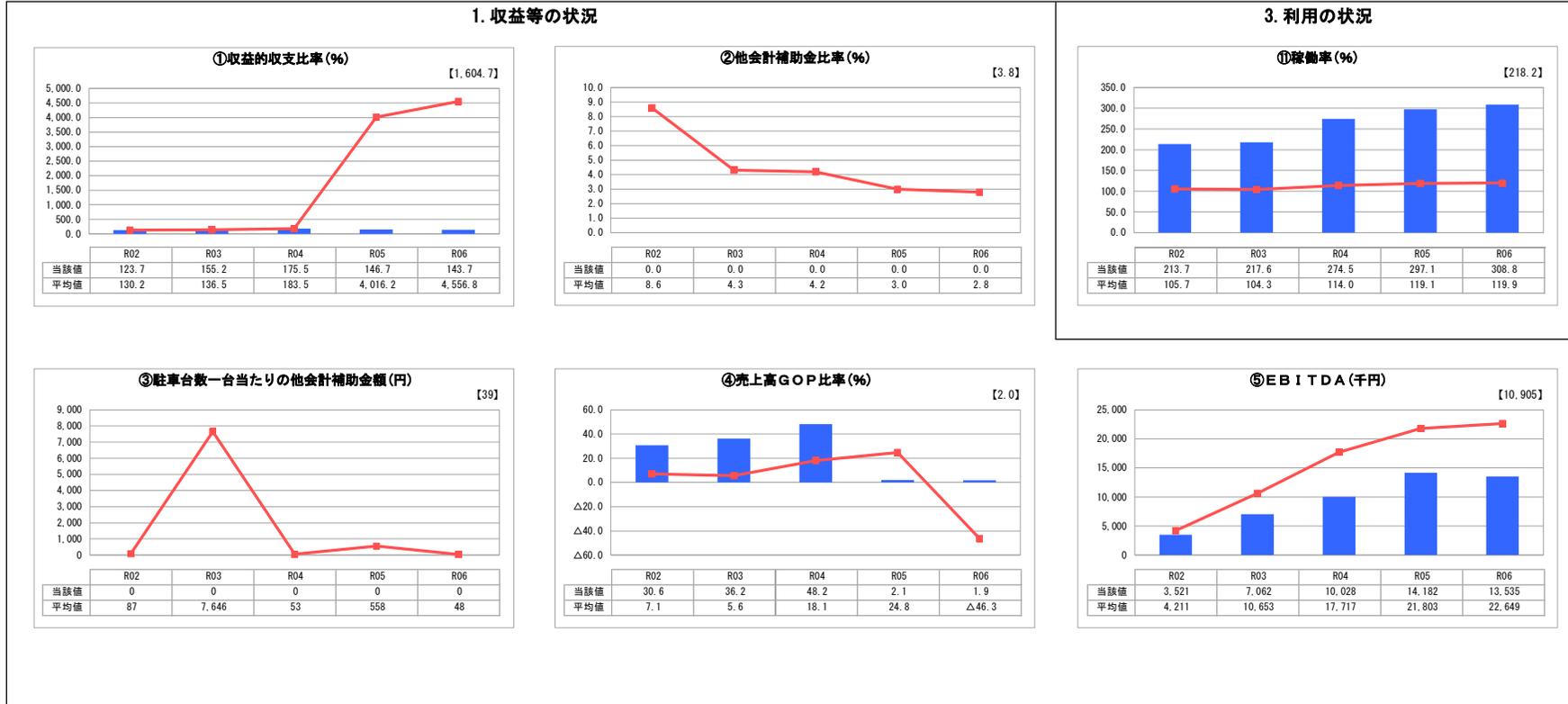
和歌山県田辺市 紀伊田辺駅前第二駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,464
収容台数(台)	時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
102	200	利用料金制

グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

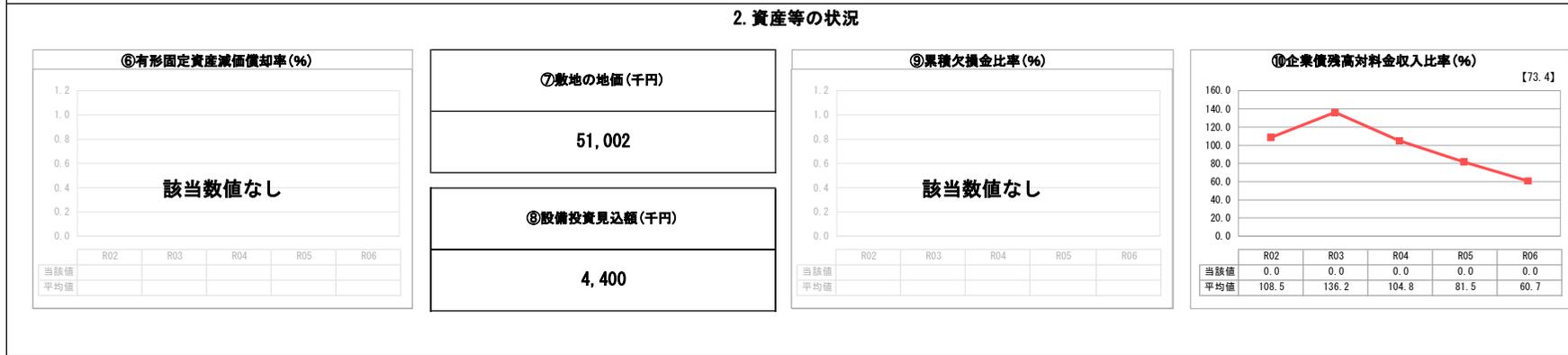


分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率については、昨年より減少しており、類似施設平均値より低い水準となっております。
 令和5年度より指定管理者制度へ移行し、指定管理者納付金が営業外収益に仕訳されるため、売上高GOPが減少しているが、類似施設平均値と比較すると高い水準となっている。
 今後も指定管理者と施設設備の維持管理の節減を図り、安定した経営に努めてまいります。

2. 資産等の状況について
 建築後34年が経過する本施設について、躯体、設備、機器等につきましては、計画的に改修を実施してまいります。

3. 利用の状況について
 本施設の稼働率は、類似施設の平均値を大きく超えており、非常に高い利用率を誇っております。
 今後も指定管理者と利便性の向上に努めてまいります。



全体総括
 新型コロナウイルス感染症蔓延以前と比較すると収支が減少している状況であります。
 また、将来的には人口減少に伴う利用者の減少が考えられる中、物価高騰により、老朽化した設備等の更新経費の増大や各種維持管理経費の増加が見込まれる状況にあります。
 今後は、維持管理経費の適正化に努めるとともに、利用者の増加のため指定管理者と連携し、健全な駐車場運営に努めます。

経営比較分析表（令和6年度決算）

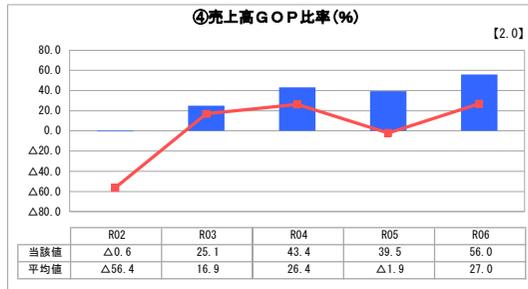
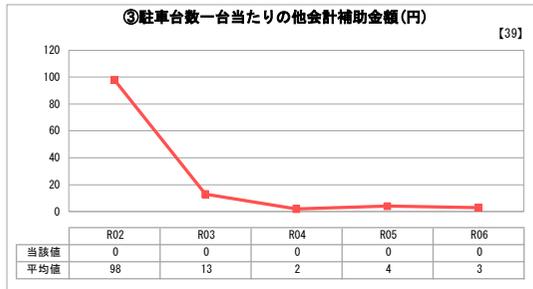
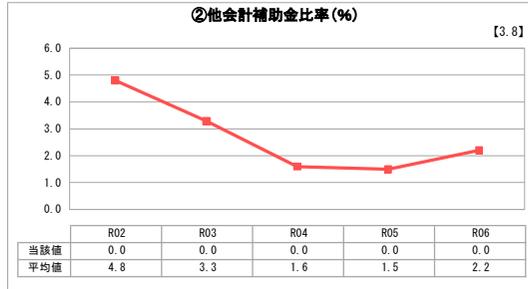
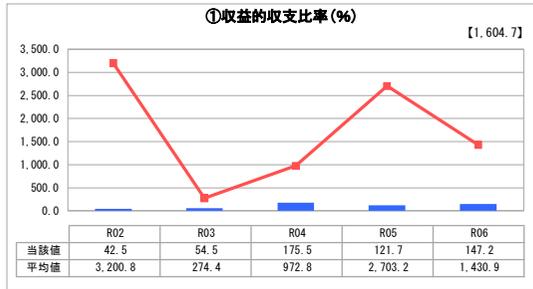
和歌山県田辺市 扇ヶ浜海岸駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	22	

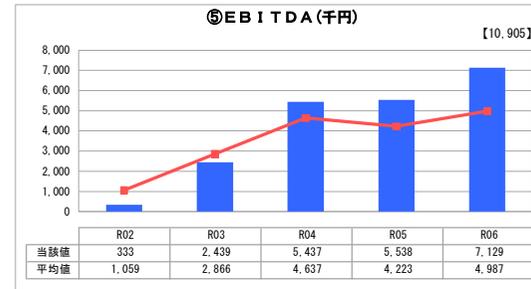
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	11,868
収容台数(台)	時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
406	500	無

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

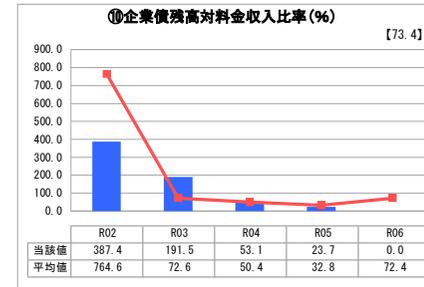


⑦敷地の地価(千円)

141,375

⑧設備投資見込額(千円)

6,900



分析欄

1. 収益等の状況について
 令和5年度において駐車場整備時における起債償還が一部終了したことから、収益の数値は黒字転換しています。
 なお、令和6年度で起債償還がすべて終了したことから、今後も黒字傾向が継続する見込みです。
 一方、駐車場管理機器の老朽化が進んでおり、近い将来、機器更新や大規模修繕を実施した場合、一時的に収益の数値が赤字になる可能性があります。

2. 資産等の状況について
 駐車場整備後20年が経過しており、平成25年度には管理機器の更新を行っています。
 近い将来、管理機器の再更新が見込まれる一方、現在、田辺ONE未来構想により扇ヶ浜海岸駐車場の利活用が検討されている中、今後はその動向を踏まえ機器更新・大規模修繕等の対応を検討していきます。

3. 利用の状況について
 当駐車場の利用者については、近接する紀南文化会館や扇ヶ浜公園、また令和2年10月にオープンした武道館の利用者が主となっています。
 利用の状況については、令和6年度において隣接する市庁舎の移転や、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）等の影響による若干の利用減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症の収束以降の高水準を維持しています。

全体総括
 令和6年度で起債償還がすべて終了したことから、今後も黒字傾向が継続する見込みです。
 一方で、近い将来管理機器の更新等が必要となるとともに、物価高騰による経費の増加が見込まれることから、駐車場の利活用の動向を踏まえながら対応を検討していく必要があります。
 なお、新型コロナウイルス感染症の収束以降は、長時間駐車を中心とした全体的な利用が回復しており、収益が改善されています。